

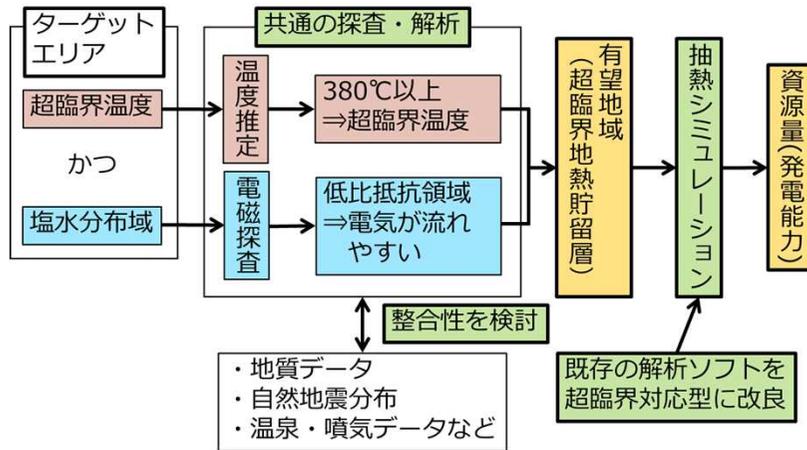
次世代型地熱発電の有望地域評価手法の開発

背景

再エネ導入拡大のため、大規模地熱発電の実現に向け、有望地域・資源量（発電能力）の評価手法が求められている。

成果

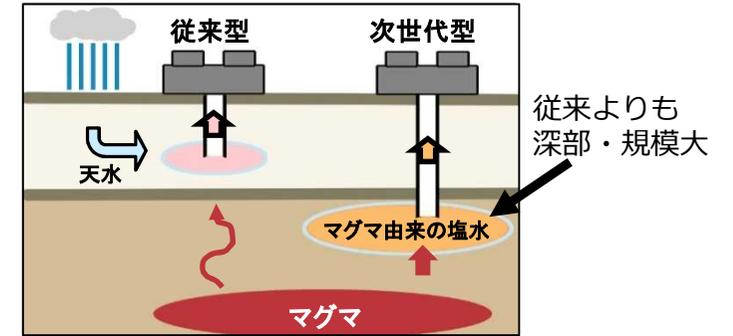
1 有望地域・資源量評価手法を開発



期待される効果

2050年ゼロカーボン達成に向けた将来の実用化にあたり、更なる有望地域探索、詳細調査における評価手法として活用が期待される。

従来型および次世代型地熱発電のターゲットとなる地熱資源貯留層（模式図）



2 道内で有望地域を抽出し、資源量を評価

